

おokayamaの木といえばこの三種類

杉

●【スギ】針葉樹/スギ科
—暖かみがありさっぱりとした感触—

スギの名前は「直ぐ」からきているといわれ、大地から真っ直ぐに伸びている。丸太の外側に近いところの材は白く、心に近い材は濃い赤色でその境目ははっきりしている。針葉樹の中でも特にやわらかいため冬は暖かみがあり、夏はさっぱりとしていて素足の感触が良い。クセのない香りも親しみやすい。戦後に植林された多くの杉の木が現在伐採時期になっているので手に入れやすく、手頃な価格の材である。

桧

●【ヒノキ】針葉樹/ヒノキ科
—緻密な木肌で独特の香り—

ヒノキの名前は「火の木」つまり火起こしに使う木に由来するといわれている。狂いが生じにくい特性をもち、古くから建築材に用いられてきた。丸太の外側に近いところの材は黄白色で、心に向かってだんだんと淡いピンクがかった白色になっていく控えめな表情。艶のある緻密な木肌で独特の香りも人気がある。乾燥しやすく耐水性があり加工性に優れているので、内部造材や家具、工芸品にも用いられている。

松

●【アカマツ】針葉樹/マツ科
—強度があり力強い印象—

アカマツは丸太材として民家などに古くから用いられてきた。全体的に黄色がかった白色。木目がはっきりしていて大きな節が力強い印象。節のある板目は「洋」の印象にも「和」の印象にもなる。他の針葉樹に比べて重厚で強度があり、足触りも硬い。本実加工したフローリングは、脱脂乾燥で、ねじれやヤニを解決して使いやすくなっている。

おokayamaの木とは

岡山県内の木材業者や製材業者が製材した県産材製品をおokayamaの木としています。

岡山県の森林面積は約484千haで民有林が県土の約7割（約446千ha）をしめています。その内の173千haが人工林であり、これは森林面積全体の約4割もあり建材に使用できる木がたくさん育っています。人工林の樹種は、桧67%、杉22%と、桧の方が豊富にあります。いずれにしても岡山の森林環境を守るには、民間での使用推進がかかせません。



リフォームと岡山県産材についてのお問い合わせは

岡山県住宅リフォーム推進協議会

(事務局：NPO法人まちづくり推進機構岡山 内)
〒700-0813 岡山市北区石関町2-1
TEL 086-803-3361 FAX 086-803-3362
E-mail machiken@amber.plala.or.jp



おokayama緑のネットワーク

〒700-0813 岡山市北区石関町2-1
(事務局：NPO法人まちづくり推進機構岡山内)

おokayamaの木でリフォームしよう
ふるさとの香りにつつまれた住まい



After



Before



木に囲まれた住まい

天然木を活かした住まいは人にやさしい住まいです。木には調湿効果やダニなどの防虫効果があり、香りには気分がリラックスする効果があるとされています。住宅をリフォームするなら、そんな人にやさしい木をつかったリフォームをすることをおすすめします。

木を使うなら環境にやさしい岡山の木で

人にやさしい木をつかった住まいをつくるなら岡山の木を使いませんか？ 地元の木を使うことで森林を守ることにもなり、また輸送にかかるCO₂を削減することで地球温暖化を防ぐことにもつながります。地元の風土・気候で育った木は私たちの住まいの環境にあった家になります。